



2017年12月14日

国立大学法人 東北大学大学院医学系研究科

「がん」や、高血圧、糖尿病、動脈硬化など 「生活習慣病」の謎に迫るトークイベントを開催

- 東北大学が取り組む「未来型医療」を紹介 -

【開催テーマ】

「がん」「高血圧、糖尿病、動脈硬化などの生活習慣病」。それらは、なぜ引き起こされるのでしょうか？わたしたちの生活習慣を記憶するという、遺伝子（エピゲノム）には、がんや生活習慣病の謎を解明する鍵が、隠されているのです。一緒に、その謎に迫ってみませんか？

【開催概要】

未来型医療関連イベント・市民公開講座

「エピゲノムって何だろう？ - 記憶される生活習慣の科学 - 」

開催日時：2018年1月20日（土）14:00～15:30（開場 13:30）

会場：東北大学片平キャンパス内「さくらホール」仙台市青葉区片平 2-1-1

対象：がん、生活習慣病に関心がある方はどなたでも

（入場無料・事前予約不要、当日直接会場までお越しください）

出演：〈講師〉酒井 寿郎

東北大学大学院医学系研究科細胞生物学講座分子生理学分野 教授

東京大学先端科学技術研究センター代謝医学分野 教授（併任）

〈聞き手〉林 朝子 東北放送アナウンサー

主催：東北大学大学院医学系研究科

協力：TBC 東北放送

お問い合わせ：022-717-7891（東北大学医学系研究科 広報室）

イベント URL：http://www.med.tohoku.ac.jp/uploads/A4_1213.pdf

つきましては、ぜひ貴媒体にて本イベントをご紹介いただけますよう、お願い申し上げます。

【開催趣旨】

このたび、東北大学大学院医学系研究科では「未来型医療」について、一般生活者の方に分かりやすく知っていただく趣旨のトークイベントを開催する運びとなりました。

東北大学は、東京大学、京都大学とともに、2017年6月に文部科学大臣から「指定国立大学法人」に選ばれました。指定国立大学とは、世界最高水準の研究活動の実力や、その潜在能力を認められた国立大学のことです。私ども医学系研究科においては、主に「未来型医療」の研究拠点として、期待をされています。

「未来型医療」という名称はまだ定着していませんが、主に『遺伝子』を活用し、私たち一般生活者に「個別化」したオーダーメイド型の医療をおこなうことで、病気の「未病や予防」を目的とする医療のことを指します。

東北大学大学院医学系研究科が日夜取り組む「未来型医療」の最先端の研究活動が、私たちの健康にもたらしうる「未来」について広く知っていただき、東北地域の皆さまにこれからの医療知識として、ぜひお役立ていただけたら幸いです。

本イベントは、東北大学教授および東京大学教授をつとめる酒井寿郎教授が、エピゲノムという遺伝子にがんや、生活習慣病の発症メカニズムの鍵が隠されていること、またそれを理解することで、「がん」「高血圧、糖尿病、動脈硬化などの生活習慣病」の予防や未病につながるというお話をいたします。

また、本イベントは、前半が酒井教授による講演、後半が酒井教授と林朝子アナウンサーとのトークディスカッションという、二部形式の構成となります。後半は、林朝子アナウンサーが、「医療知識のほとんどないわたしたち一般生活者の目線」から、酒井教授にあらゆる疑問を投げかけます。

科学の発展とともに、医療も日々大変なスピードで進化していきます。正しい情報があれば、より良い医療サービスを選択することが可能です。東北地域のみなさまに東北大学が取り組む最先端の医療を知っていただき、その研究成果を余すことなくお伝えできれば幸いです。

(ご掲載に関するお問い合わせ)

東北大学大学院医学系研究科・医学部
広報担当 篠原 愛 (しのはら あい)

電話：022-717-7891

E-mail：aishinohara@med.tohoku.ac.jp